



はじめに

志賀 一カ年の勉学の総決算を終え、学業から解放されて春の休暇を楽しんでいられる時期にお集まり戴き恐縮です。今日は皆さんからいろいろ素直なご意見を伺い、これを「現代の女子学生気質」として纏めたいと存じます。なお、今日、ここに野辺地、児玉両先生に陪席をお願いし、適宜ご助言をいただくことにいたしました。どうぞよろしくお願いします。

女子学生亡国論について

志賀 それではまず最初に、ジャーナリズムなどでとりあげられている女子大学無用論とか女子学生亡国論など、女子学生にとって極めて重大な問題を含む議論に対するご意見から伺うことにいたします。

加藤 女子大学無用論とか女子学生亡国論についてですが、ある大学の女子学生に対してはそういう議論もなりたつでしょうが、それを女子学生全体の問題として論じられるのは妥当ではないと思います。

瀬川 私はこの問題に関しては、女子学生にも責任があると思うんです。なぜなら女子学生の半分以上は学問を求め、という瞭りした目的もなしに進学する傾向があるからです。亡国論や無用論に反撥するだけではなく、反省も必

出席者 (敬称略)

北村 章子

(大学文学部三月卒業)

林 紀子

(大学法学部三年生)

馬場 薫子

(大学商学部四年生)

吉川 史子

(大学英文文学科三年生)

加藤 潤子

(女子大学家政学科三年生)

瀬川 恵子

(女子大学音楽学科三年生)

野辺 正之

(大学文学部教授・心理学)

児玉 実英

(女子大学助教授・英文学)

司会

志賀 英雄

(大学文学部教授・教育学)

要だと思えます。

吉川 女子学生亡国論というのは、大学を卒業した女子が大学で修得したものを社会に還元しないで、すぐに家庭に入ってしまうのでそのように言われるのだと思います。でも女子であるために職業の門戸が閉ざされ、会社に入っても重要なポストは男子に優先されるという社会的差別を見逃すわけにはゆきません。またたとえ職業につかずに家庭に入っても、社会的還元はできると思います。学校で身につけるものは技術的なものでなく、視野の広い人間となることが本当の目的だと思いますし、そういう点から、女子学生亡国論は誤りだと思います。

北村 共学女子学生のなかにも「学問をするために」と瞭り言えない人もいると思いますが、明確な目的をもって入学した人も沢山います。ですから、「女子学生亡国論」にはやはり反感を覚えますね。大学は思索する場所だと思えますから、女子もそういう場所です。深く物事を考え、もって成長したい。私たちは学問をするという明確な目的をもって、大学に入学したのですから、亡国論など論外です。

林 私は女子学生亡国論という代わりに、大学生亡国論と言いかえたらよいと思うくらいです。私は法学部ですが、見ていると女子学生の方がよく勉強します。それでいてなぜ亡国論などが出るかと言えば、「大学で得たものを社会に還元しないから」ということらしいんですが、学生の身分からみると、女子の方がずっと本分に添っているように思えます。男子より優をとっている比率は高いんじゃないですか。こういうことに対する男子のヒガミのようにきこえるんですけれども。

馬場 私も林さんと同感です。亡国論などを唱える前に、もっと男子学生がハッスルしてほしいと思いますね。(笑) 少しも勉強しない男子学生がいながら、女子学生亡国論と言うのはもってのほかです。

同志社を選んだ動機

志賀 それでは皆さんが同志社の大学を選ばれた動機や目的は何でしたか。

加藤 私は女子中へ編入試験を受けて入学したんですが、女子大へは自分の意志ではなく親の勧めで、キリスト教精神などは考えずに入ったわけです。しかし五年間同志社教育を

受けてよかったものですから、そのまま同志社で勉強したいと思ったのです。女子大を選んだのは同大に家政学科がなかったからです。将来妻、母として生活していくうえに、家政学科で学んだ方がよいと考えたからです。瀬川 私は初め学芸大学に行くつもりだったんですが、宣教師の方に同志社を勧められたんです。小さい時から育まれてきたキリスト教の学校に心が引かれたこともありまし。女子大に対しては不安はありましたが、共学よりは勉強するのに気が散らないでよいかと思っただです。(笑)

馬場 私の場合は、父が同志社に勤めていた関係で中学も高校も同志社でした。大学に進学する時にいろいろ考えたんですが、やっぱり同志社はとてもよい学校ですので、商学部を選んだのは経営に興味がありましたし、それに結婚してからも経営の仕事と家事とが両立できると思っただです。

林 私の場合は実に暖味なんです。私の行っていた公立高校の先生は、まず国立の一期校をすすめるんです。模擬テストの成績がちょっと悪いと、私立でも受けたらどうです、といった具合です。私ははじめ国立大学を受け



林さん

るつもりだったんですが、途中でこんなことが馬鹿らしくなり、もつと自由な雰囲気の大学へ行きたいと考え、兄や姉が同志社へ行っていましたので、学校もよいだろうということで……。(笑)法学部を選んだのは、こんなことをいうのは恥しいんですけど、男の人と互角にやってやろうという気持ちがあつたからです。

北村 私も中学から同志社でした。同志社が好きで、大学ももちろん同志社にしようと思っていました。英文学科に入ったのはやはり文学が好きだったからです。特に共学大学を選んだのは、六年間の共学生活で、男子学生から学ぶことも大きかったからです。

志賀 でも英文学科には勉強相手の男子学生は少ないでしょう。

北村 ええ、でもやはり女性の感受性と男性

の感受性とは違いますし、文学を研究する場合でも、男子学生からかなり刺激を受けました。ただもう少し男の学生が多かったらよいと思いました。

志賀 文学部では最近女子学生が増え、ある学科や専攻においては、主導権が女子の手に握られるという傾向があると思いますが。

野辺地 私の属する心理学専攻生は各学年に約六十名いますが、その半分あるいは三分の二は女子学生です。したがって女子の主導権が強くなっていますね。例えば講義の時なんか、前の席は全部女子が占め、男子はいつも後の方にかたまっています。すると男の学生の出席が悪くなる。女子大に男子の学生が間違つて入ったのではないか、(笑)という雰囲気ですね。

またコンパや、ゼミのハイキングのときは、女子学生がプランを立て、これを実行に移す、といったことも女子学生の主導権の現われでしょう。それと今一つ、私は女性本来の姿は女子大学において形成される、ということに疑問を感じます。私たちの社会や、家庭生活は男女の交流に基づいているからです。そういう社会に正しくアダプトするため

の教養と訓練が望ましいと思います。

入試のために疎外される人間性

志賀 大学に入学するためには、受験勉強のための灰色の数年間があつたわけですが、入学試験のために疎外される人間性についてはどうでしょうか。

林 私は鳴沂高校からです。ここでは「京大」が絶対なんです。模擬テストで何番から何番までだと京大へ入れるなどと言うんですね。学友の話題もそんなことばかりです。学問というものが全く見失われているんです。ですから大学に来て嬉しかったことは、学問とは何か、ということをおぼろげながら認識できたことです。高校では生徒の人間性とか人格などは凡て無視され、あるものは点数の権威だけです。



吉川さん

吉川 私の学校でもホーム・ルームの時間があるのに、それを守らずに勉強するのが偉いように言われたものです。本当の高校のあるべき姿ではなかったと思います。

志賀 明らかに人間性が喪失され、疎外されているのですね。そうした疎外からの人間性の回復を大学において見つけることができたというわけですか。

吉川 そんな感じですよ。

大学におけるクラブ活動

志賀 ところが苦勞して大学に入ってみると、実際には期待したほどのものでもない。教室ではマスプロ授業の連続で、教育不在の講義が余りにも多すぎる。そこで学密生活をできるだけ豊かにしたいということで、クラブに入るわけでしょうか。クラブ活動をしている方はありますか？

加藤 私は山岳部に入っていますが、大学教育にも大変問題があるんですね。勉強したいと思っても、そんなに勉強することもないので、ついクラブに入ってしまうんです。

吉川 私は入っていません。私は寮生ですが授業が終わるとすぐ寮に帰りますし、寮生以

外の人との交わりは全然ないんです。私は学外活動をしていますので、クラブ活動ができない。どちらがよいかまだ解りませんけど。

馬場 最初バトントワイリングに入っていました。最初、長くやっているのと講義に全然出られないので、とても不安なのでやめました。

林 私はESS演劇部です。一年の時からクラブに入りたかったんです。と言うのは教養課目の大教室では、先生の姿が遙かにかすんで顔もよく見えない。(笑)それに知らない人ばかりで女子学生も少ないし、男の学生に圧倒されそうで、すごく不安でした。それに演劇に興味があつたのでESSに入ったんですが、講義にはやはり出なくなりますね。

北村 私も二年までESSに入っていました。専攻が英文学ですし、英語も話せなければというわけで。クラブではいろいろなコンテストがあり、そんな時は苦しかったけど今ではよい思い出です。二年でやめたのは、自分の専攻の勉強をしたかったからです。

志賀 女子大では出席をかなりやかましく言われるのでしょうか。

加藤 ええ、すぐうるさいんです。それで私なんか授業をサボってクラブのために何か

するということはほとんどありません。私は三年生でリーダーをしていましたが、授業との両立はうまく行っていたと思います。授業には全部出ていました。

野辺地 共学大学では出席をとりませんので、クラブ活動に専念する気持ちも強くなってくるでしょう。また三年生ともなると責任もでてきて忙しくなる。留年する学生は低そうした仕事をしています。クラブ活動で問題なのは、クラブに入ることによって、トラブルが非常に多くなることです。とくに共学ではクラブの中の異性間のトラブルが多くなるという一面がある。殊にESSなどには女子学生も多いし、そういうところで生ずる恋愛問題で悩む。そういうことから学生生活に歪みができて、学校が面白くなるということになるようです。

学生の政治運動について

志賀 いま野辺地先生も指摘されたが、クラブ活動とは結局ボーイフレンドやガールフレンドのスカウトの場と考え、好きな人を見つけたらそれでさよならというような人がいます。(笑) このほかにいわゆる学生の政治運

動の問題がありますが、ある運動家は女子学生が増えるということはマイナスだという。

というのは女子学生の政治意識が非常に低調なので、われわれがどんなにアツピールにしても一向それに同調しようとなし、ということです。学生運動に対する女子学生の感想を一つ、林さんどうぞ。

林 私は学生運動をしている人を知っていますが、少数の人々は政治意識にもえて、学生の在り方を真剣に考えていますが、そのほかの人々は生活は乱れているし、普通の学生じゃないんですね。とにかく本当にひどいんです。自分が何か不安でたまらないので、学生運動に没頭する傾向が見られます。講義にはもちろん出席しない。なんか人間的に尊敬できない人が幹部の中には多いと思うんです。

志賀 商学部ではどうですか。

馬場 そうですね、私にはやっぱり講義が大切でし、そんな方面に走って自分の目標を見失いたくない、という気持ちが強いので、あまり関心をもちません。

北村 文学部は女子が多いので、考え方は政治や経済からかなり離れてますしね。どうしてもその点弱くなってしまうんです。だけど

私は全然無関心じゃありませんでした。文学部には他学部のようなクラス討議というものはありませんし、あっても何か私たちと遠く離れているような感じでした。

志賀 女子大では学生活動家の政治意識の強さというものはどうですか。

加藤 新聞会の人はかなり強いようですが、一般の学生は余り関心をもっていないように思います。一部の人々は同大生と一緒にデモに参加したりしますが、殆どの人はそういうことはありません。

瀬川 政治に関心をもつのは当然だと思いますが、政治運動家の態度なんか見えていますと、だんだん嫌になってきたんです。政治意識をもつことや、政治運動それ自体は結構なんですけど、やっている人々を見ると人間性の面でも疑問を感じるんです。

吉川 女子大では大きな行動はしないけれども問題意識をもった人はいえると思います。そういう人たちをみるとうらやましく思いますが。私ももっと呼びかけなくては……と思います。

志賀 そんなのは同志社女子大生的一般傾向でしようね。



児玉 助教

児玉 そうでしょうね。政治問題だけではなくて、身近な問題からはなれた問題に対しては。男子の方はむしろ社会や政治の問題から出発して身の回りに及び、それに対する姿勢をとりがちですが、女性もやはり視野を広げて、政治や社会の問題を見つめてゆかなければ男性の足をひっぱることになりますね。

野辺地 昨今の学生運動はプロ化して、プロの運動家みたいですね。学生運動というのは学生の政治、社会の歪みに対する潔癖な意識の現われであればよいのですが、過激で抽象的な方向に行きつつあると思うんです。それを本来の姿に戻すものは女子学生の力じやないかと思います。適時にブレーキをかけることを期待したいと思います。

志賀 運動の実体を見きわめる聡明さがなければいけないと思いますね。ただ激情的に運

動に参加し、非法な行動に移るといのは高い教養をもつ大学生の態度ではないと思いますね。

学生アルバイト

志賀 ではつぎに、皆さんはアルバイトをしていますか。瀬川さんは商業高校の礼拝のオルガンを弾いていますが、あれはアルバイトとしてはいかがですか。

瀬川 とても賄えないんです。(笑) ほかにはピアノの個人教授をしています。食費以外はこれで賄えます。

馬場 私は一年と二年の夏期休暇にあるホテルで出納係をしました。

志賀 それがあなたの生活費にどの程度役立ちましたか。

馬場 それでコンタクトレンズと、自転車と



志賀 教授

旅行の費用ができました。(笑)

林 私は姉の家に居候していますので、家事の手伝いなどで忙しく、アルバイトなどはできません。

北村 私は中学生に英語を教えています。

志賀 自分の学業に結びつくアルバイトなら勉強にもなりますね。また百貨店のアルバイトなどはいいいとしても、変なところのホステスとか、女性独特のアルバイトがあるようです。少しでも親の経済的負担を軽くしたいというのと、自分にプラスになると思われる職種のアルバイトは、学業にさしかえない限り、社会勉強のため必要かも知れませんね。

期待する男性像

志賀 あなたたちにとって重要なことだと思いますが、期待する男性像というものについて話して下さい。

北村 私はやはり信念をもった人、それから尊敬できる人を選びたいと思います。

志賀 抽象的な意見ですけど(笑)もっと具体的に、例えば経済的な能力があるとか、才能においてすぐれているとか、逞しい行動力をもつとか、趣味の豊かな人とか。



馬場さん

北村 広く人間的に立派な男性、という意味なんです。

志賀 どんなに人間的に立派であつても、社会に出て必ずしも有能であると言えない人もあるでしょうが。

北村 複雑な社会ですし、いろんな競争もありますけれども、その中で力強く生きてゆく精神をもった人がよいと思います。

林 私はね、経済力があつて、遅しくてといった男性には希望がもてないんです。(笑)とにかくお互いに悩みを語りあえて、愛情が感じられて、一緒に進歩し、発展していけるような人を期待します。

馬場 私は同じ学部の人だと何かしら頼りなく思えるんです。例えばノートを見せてくれたか、このところを教えてくれないか、とか言ってくる。ですから他学部の人で、余り

深く知らない方がよいのではないですか。林 全く同感ですね。同じ学部の人ですともう尊敬できないような気がします。何もかも知り過ぎるからでしょう。

馬場 なにか子供を相手にしてるような感じですね。夫にするのには頼りなくて……(笑)吉川 私は同じ人生目的や共通のものをもっている人を選びます。そして卒業したらすぐ結婚ということではなく、まず自分が行きたい道へ進んで、それから自分と同じ信念をもっている人と結婚したいと思うんです。

瀬川 私は私の仕事を認めてくれる人でなければ結婚しないつもりです。女としてよりも、まず人間として見て欲しいですね。

加藤 北村さんと同じように、信頼できて、自分の仕事に自信をもって没頭する男性にすぐくひかれるんです。それで結婚した場合、その仕事を助けられるような家庭をもちたいと思います。夫の仕事に理解をもち、それを伸ばしてゆきたいと考えています。

志賀 最近世間では「家付き、カー付き、婆抜き」ということを、結婚の条件にする女性がいると言いますが、あなた達もそのように考えますか？

馬場 それにこしたことはありませんね。(笑)しかし全部ということは難しいと思います。一例をあげますと、私自身は母ともよく衝突するんですから、まして他人の母とうまくやっていくことは難しいと思うんです。

林 たしかに夫婦単位の家庭が増えていきますね。しかし例えば何月何日にはどういう行事をするか、といった日本民族の昔からの伝承行事や民族感情などは、私たちが老人たちと暮さないと、断絶してしまうと思うんですが。

志賀 姑に対する態度は自分の心構えでどうにでもなりますけれど、「家つき、カーつき」ということになりましたと、経済的能力の問題ですね。つまりあなたたちの夫となる人々が、自宅に住み自家用車をもつということになると、よほど年令の開きのある人でない限り、現実の問題としてはまず不可能でしょう。林 「家つき、カーつき」というのは、親から相続したものという意味ではないですか。

志賀 そういうことになりましたとね、人間として尊敬できる男性であればよいが、ブルジョアの不肖の息子なんかですと、どういうことになりますか。

北村 「家つき、カーつき、婆抜き」なんて

恋愛と結婚について

言葉はマスコミが作りだした言葉で、それに乗せられているんじゃないですか。家や自動車はあった方がいいでしょうが、それでは二人で築きあげていく喜びがないように思えます。それから婆抜きということですけど、意見の衝突もあるでしょうが、いろいろ教えてもらえることもある筈です。これを凡ての女性の希望条件とみることは間違っていると思います。

林 婆抜きなどと言えば、自分たちが年寄りになった時、どうなるのかと考えます。今はいいんですよ、ない方が。でも私たちが姑になる時のことを考えるとどうでしょうか。

志賀 そうなんです。今でこそそんなことを言っているが、自分たちが姑になった時、そういう仕打ちを嫁から受けるということを考えると、そんな条件を自分たちの手で作り上げることは愚かなことじゃないかという気がしますね。

馬場 しかし年寄りになると、まず食べ物が変わりますね。(笑) 私の兄は結婚して同居していますが、やっぱり台所は一緒にできないですね。そういう意味で姑と一緒にやっていくことは難しいことだと思えます。

志賀 それでは次に、あなたたちは結婚の相手を恋愛によって選びますか。それとも恋愛と結婚とは別ものと考えていられれますか。

北村 私は恋愛と結婚と分けて考えるのはおかしいと思います。私は恋愛したら当然結婚するつもりです。

林 学生時代の恋愛の自由というのはどうも無責任なもので、十分楽しんでから結婚の相手は別に探がそう、なんていうのは本当の恋愛じゃなくて、恋愛という名のもとに快楽を求めていることでしょうね。

馬場 私もそう思います。恋愛したらそれを結婚に結びつけようと努力するのが本当の恋愛ではないでしょうか。

瀬川 私も恋愛したら結婚に結びつけたいと思います。

吉川 私もそう思います。

志賀 あなたたちは非常に健康な恋愛観を持っておられる訳ですが、カウンセラーのところに相談に行く諸君は、恐らくそうした深刻な問題を抱えていることだろうと思うんですが、野辺地先生いかがでしょうか。

野辺地 カウンセラーとしてもそういう事例はありますが、ゼミの時間に恋愛と結婚の話をし、学生諸君に「結婚の相手と恋愛の相手を同じと考えるか」といったアンケートをします。すると「同じ」というのが女子学生の場合50%で、「違う」というのが24%から25%です。これは面白いことに男子学生の方まはほぼ同じです。ここに出席している諸君はその50%の中に入っているわけなんです、そうでない人もかなりいるわけです。

志賀 そうしますと、そういう学生は、結婚に結びつくまでの恋愛は単数ではなくて複数ということになりますか。

野辺地 私が女子大に教えに行っていた頃の話なんです、男の友達をもっている女子大生は、よく友達から「あなた、そんなに沢山の男性とつき合っているつもりなの。早く一人に決めなさいよ」と言われる。そこでこれはいけないと考えて、整理して一人だけに絞るというんです。(笑)ところが其学の女子学生は愛人を複数もっていて、結婚する場合にどちらにするかと天秤にかけるんです。(笑)つまり予備軍みたいなのを置いている訳です。しかし複数の愛人をもっていると、そ



野 辺 地 教 授

れだけトラブルが多く起る訳ですね。そして悩み、相談にくるといった筋書きです。

学生結婚について

志賀 最近耳にしたことですが、学生結婚をする人々が増える傾向にある、と言うことですが。

北村 さあ、私は知りませんけど。

志賀 そういうことはブライバシーに属するから黙っておればわからないでしょうが。

馬場 商学部では聞いたことはありませんね。

林 法学部ではこの間、仏文研究会なんかで学生結婚した人がいるという話を聞きましたけど。

加藤 一組知っています。心理学の人で四年生になってから結婚し、でも卒業だけはした

いというので、東京と京都を一週間に三日間往復していたということです。女子大では結婚したら中退する人が非常に多いんです。

志賀 そういう面でも女子大生と共学の諸君とは心構えがちがいますね。片方は学業は完成したいと考えますが、女子大生では花嫁学校的な考えによるんでしょうが、好い配偶者が見つければ何も四年も行く必要はない。結婚の条件を悪くするくらいならすぐにでも結婚しようという人もあるでしょうね。

児玉 ある時期にはあったのでしょうね。二年修了という制度がありましてね。でも最近では次第に減っているのではないでしょうが。私のゼミで結婚しても最後までやって卒業した大学生がいました。

吉川 私もそんな例を知っています。

瀬川 去年の卒業生に一人ありました。

私たちの一日

志賀 それでは次ぎに、あなたたちの一日はどういうことになっていますか。

北村 そうですね、日によって違います。自分の問題について考えたり、またその場合にお友達と一緒に語り合ったりすることもあ

ります。でもまあ、読書の時間は家では一日に二、三時間くらいですね。

志賀 学課の下調べの時間を除いてですか。

北村 私たちの場合は、学課の下調べと読書が直接結びつきます。例えば本一冊読んでおくことが、次の授業に関連してくるという場合もありますし――。

林 私はクラブへ入っていますので、クラブの仕事が忙しくなるとクラブのボックスで勉強します。自分の読書というのは平常より休暇になった時に多くなります。

馬場 私は教科書を読むことはあっても、小説などは殆ど読みません。

志賀 商学関係の本では、自分の思想や感情を育てていくものは少ないでしょうね。

馬場 そういうものを育てるためには、私は他学部の人達と話合うことにしています。

志賀 女子大学の皆さんはどうですか。

加藤 恥しいんですけど、あまり本を読んでいないんです。学課関係のことに時間を取られて、読書の時間が少ないんです。

瀬川 私の場合、一日のアルバイトの時間は大体一時間半で、専攻学科の勉強は学校で四時間くらいですね。その外にピアノの練習が

あります。語学の勉強などは大体二時間くらいです。それでレジャーというのは余りありません。

吉川 私は高校までは読書をしなかった方です。大学に入ってから読書をしなければならぬと教えられて、読もうと思うんですが、毎日は読めないんです、時間がなくて。それで休暇を利用して読もうと努力しています。

児玉 女子大では他校に比べ、授業時間数がかかり多いんじゃないんですか。ですから自分の好きな本を選んで読むというのは、休暇の時ということになりがちですね。

志賀 それでは家に帰った時や、休暇中のレジャーをどういう風に過していられますか。

北村 やはり翌日の学課の準備をします。また女ですから家事の手伝いもしますし、テレビを見ることもあります。

志賀 英文学科と法・経・商学部とでは事情が違いますよね。下調べの時間は少ななくてすむから。

林 私の場合はクラブボックスにいるのが大半ですね。それから家事の手伝いをしたり、本を読んだり、テレビは余り見ません。新聞は家に帰ってからゆつくり読みます。

志賀 寮生の吉川さんはいかがですか。家事の手伝いをする必要はないのですから。

吉川 けれども自分の時間は余りないんです。私は一週間に四回学外に出ますし、ほとんど自分の時間というものはないんです。

生活費の内訳

志賀 それではあなた達の生活費の内訳といったものを話して下さいませんか。まず本代ですが、教科書や参考書以外の本代です。

林 そうですね。恥かしいんですが一ヵ月四百円くらいです。そして主に洋書です。そのほかの本は家にあるのを読みますから。

北村 私も月によって違います。が、やっぱり休暇の時は沢山読みます。普段は勉強に忙しくて、自分の好きな本を読んでいる時間が少ないのです。



北村さん

加藤 私の父は本好きで、世界文学全集や日本文学全集を持っていますので、それを読んでいます。あとは山岳関係の本を買ったり、スタイルブックを時々買うくらいです。

志賀 お小遣いの中から買うんですか。

加藤 本屋さんがツケなんで、好きな本を買ってきて支払いは母にしてもらいます。(笑)

吉川 私はたいがい図書館を利用します。自分で残しておきたい本は買いますけれど。

志賀 そういう本は文庫本と単行本とではどちらが多いんですか。

吉川 文庫本です。その方が経済的ですから。

志賀 では次に化粧品代ですが、これはお嬢さんにとって大切なものでしょう。本代よりも化粧品代の方が高つくんでしょうか。

北村 お化粧品代というのはそんなにいらなと思うんですけど。

志賀 お母さんのものを使いますか？

北村 はい、母と一緒に買ってくれますし、一つ買ったら割合長く使いますので。

馬場 私はお小遣いの中で占める比重は割合大きいんです。自分だけの化粧品を買いますしね。でも一ヵ月五百円くらいです。

林 私は姉のものを使っています。私のもの

は口紅一本だけ。(笑)

志賀 寮にいとその点はどういうことになりますか?

吉川 全然買いません私は。(笑)みな家から送ってもらいます。(笑)

瀬川 大体五百円くらいですね。本代の方はるかにかかります。

加藤 私は大学に入った時、一揃買ってもらったんです。あとは口紅などを時々買うくらいで、化粧品代というのは少ないんです。

教育ママについて

志賀 それでは世間でいう教育ママについてどのように考えていますか。

北村 私はできればそんなママにはなりたくないと思っています。なぜかというと、母親のエゴイズムのようなものを感じるからです。たとえば自分の夫が大学出でないから、出世しなかったとかで、その欲求不満を子供にぶつけ、これを自分の思う通りにしようとするんです。だけど子供も一つの人格ですし、自分が伸びたいと思う方面もあるでしょうに。子供の個性を自由に伸ばすムードや環境を作ることが大事ですが、余りにも自分の



加 藤 さ ん

カテゴリーに子供をはめこもうとするので、子供たちにとっては不幸だと思います。

林 マスコミで「教育ママ」というのは、本当の母親の教育というのを一つもしないでいて、一方では学校に委すべき教育に一々口出しをする母親のことでしょう。人間的に立派に育てるということではなくて。

馬場 とにかく名門の高校とか大学へ子供を是が非でも入学させることを唯一の目的とするような教育ママというのはいけません。本当の教育ママというのは、子供の個性や人間性を伸ばすために苦心するママのことではないかなと思います。

加藤 教育ママにはなりたくないという気持ちはあるんですけど、今の教育事情を考えてみると、教育ママの立場もわかるような気がするんです。余り子供を放任していては大学

に入れないとか、他人の子供に比べて学力が落ちては困る、といった母の心配があるんです。それで教育ママを批判するだけではないに、もっと深く母の教育精神といったものについて考えなければならぬと思います。

志賀 それでは教育ママの良い面はどういうことでしょうか。

北村 もし子供のある一つの才能がつかめたら、他の勉強が中途半端になっても、それを伸ばすためにお尻をたたいてやらせる、というのはよい面だと思えます。ただそれを見抜くことは難しいことですね。

林 よい面というと、幼時から何かを習わせることによって、規則正しい時間の使い方や習慣をつけることになりましようね。

吉川 ただね、教育ママが子供の可能性を正しくつかんだ場合はいいんですけど、誤った場合にはいけないと思います。

加藤 「過ぎたるは及ばざるが如し」でね、余り塾に通わせたり、夜遅くまで勉強勉強とやって子供を強制して、遊ぶ時間さえなくしてしまふのはいけません。でも勉強のための規律をわきまえさせることは悪いことではないと思います。



瀬川さん

瀬川 教育の本質を知った教育ママなら、大いに結構だと思いますが。

志賀 教育ママについてのご意見はいろいろ伺いましたが、虚栄心とか劣等感から出発した教育ママには弊害が非常に多いのです。そうでなしに、自分の教育学とか教育哲学というものをもち、学校教育ではできない教育面を、母親の愛情をもって補ないながら、子供の成長を願うというのであれば、教育に無関心で教養の低い母親よりも、教育ママこそ望ましいのです。

大学に期待するもの

志賀 同志社大学や女子大学に学んでみて、高校時代に期待したものと違っていると幻滅を感じた人もあるでしょうし、あるいはやっぱり期待した通りの大学であったと考えられた方も

あるでしょう。この点について。

北村 私は十年間、同志社に在学したことになるんですが、やはり同志社カラーを大切にしたいと思っています。それには教授と学生双方の自覚と努力が必要だと思うんです。

志賀 同志社カラーというものをどういうふうに考えていますか。

北村 やはり新島先生から受継いだ精神です。学外の人たちが同志社大学を見た時に、煉瓦造りの建物と緑の木立とが調和した美しいムードのある大学だと言いますね。けれど外見だけではなしにもっと本質的なものが、学園内に溢れてたら素晴らしいと思います。

林 私が鴨沂から同志社に来て「良かったな」と思ったのは、まず雰囲気がよく自由で、明るく伸びやかなことでした。公立とは全然違うんですね。公立には悪い意味での個人主義の傾向が強いです。新島精神の本質などよくつかめていないんですが、独自の雰囲気はありますね。私はこれが大好きです。

次に大学に期待することは、教授と学生とがもっと密接になって欲しいということだと思います。今の大学の状態では知識の切売りの感なきにしもあらずです。教授との人間的なふれ

合いで、人間関係が学問を媒介として深くなっていくことを期待したいと思っています。

志賀 現在のように学生数が増えますとなかなか難しいのです。そのために、ゼミシステムがあるわけですが、皆さんは誰かのゼミクラスに入っていますか？

林 私はまだです、二年ですから。

志賀 ゼミクラスに入ると、教室に学問を媒介とした人間関係の場が出来ますから、大学に対する考えも違ってくると思います。

吉川 同志社に入ってから一番よかったと思うのは、やはり自由な大学だなということでした。女子大では教授との接触の機会が多く、一年の時から人間関係の討論がありますし、トレーニングキャンプや修養会など。ただ残念なのは参加する人が少ないのです。

加藤 同大に比べたら、多くて二〇〇人から二五〇人くらいの教室ですからね、大学の授業という感じはします。でもやっぱり先生とお話する機会は少ないんです。それで、できれば十人くらい一つのグループで、何か一つのテーマについて先生と討論する機会を持ち、専門的知識を身につけたいと思います。

志賀 兄玉先生、女子大にはゼミシステムは

あるんですか。

児玉 あります。

志賀 ゼミで卒業論文の指導もされますか。

児玉 いや別です。ただ家政学部では、演習で卒論の指導がなされていますが、英文学科では、シニアイングリッシュという名称で演習だけを行なっています。これは二十人くらいの小さいクラスです。

志賀 女子大の方は全体として学生数が少ないので、まとめやすいでしょうが、其学の法・経済・商学部に至っては、その理想から程遠いようです。

北村 英文学科では、一年生の時から専門のクラスがあり、五十人くらいのクラスで勉強できます。ゼミは四年生ですが、平均二十名くらいですし、先生ともよく交われ、恵まれていると思います。

志賀 ゼミの先生の私宅を訪問されますか。

北村 私はお正月に挨拶に行きます。

志賀 ゼミ担当者によつては、クラスの在り方も違いましようね。

北村 ちがいますね。私の属するK先生の場合ですと、リユニオンといって先輩も参加して、大文字山に登ることにしています。

馬場 私はゼミを取っていません。その上に講義では人数が多いし、先生との接触は殆どありません。淋しいですね、やはり。

林 私はまだゼミをとっていませんが、フランス語の先生なんか、顔と名前はおぼえて下さいました。何しろ紅一点ですから。(笑)そういうことで、電車の中で逢うと親しく口はききますけれども、それだけです。

志賀 女子大では先生の宅を訪問しますか。

加藤 私は顧問の先生や学生課の先生の研究室に行つて親しくして戴きますが、あとの先生はただ顔を知っているだけで、お話しなどしたことはありません。

吉川 私はバイブルクラスで……。

瀬川 私が女子大へ来てよかったと思うのはクラスが小人数だということです。それから同志社の特質の点では、女子大の方が良いと思うんです。やはり、まず大学に期待するとは、学問の厳しさを守ることですね。

志賀 さきほどちよつと新島先生の話が出ましたが、新島精神の主体になりますものはクリスト教ですが、其学の諸君はチャペルアワーに出席しますか。

馬場 一年生のときはチャペルアワーに出ようと思つたんですが、講義の多くが新町校舎です。講義が終わつて栄光館に行ったら、もう済んでいるんです。

北村 私は時々出ました。でも一年の時はクラブボックスの方へ行っていましたし、なかなか出るチャンスはなかったんです。でも時間がある時は出ました。いろんな先生の奨励をきいて有益でした。

志賀 特に水曜日の第二講時を礼拝と講演の時間のために割いているのに、クラブ活動をやったり、クラス協議をやったりすることが多いのです。それではあの時間を設けた意味がありません。私も時々チャペルアワーで奨励をしますけれども、「ここに出席している諸君が、同志社において最も大切なものを、はっきり自覚して守ってくれる諸君なんだな」という感銘を覚えるのです。それにしてもその数があまりに少なすぎるんですね。チャペルアワーをもつと大切に考えて、もっと多くの人たちが出席し、同志社を支配する最も深い真理をそこで学びとつて下されば、同志社での学生生活は一層充実したものになると思います。女子大のチャペルアワーはどうなっていますか。

瀬川 毎日あります。

志賀 そう。では出席の方は。

加藤 一年生の時には強制されましたので、始めの頃は嫌だったんです。しかし義務制をとかれて、自由に礼拝できるようになってからよく出席しましたが、三年になってクラブの仕事が忙しくなり、出られませんでした。

志賀 礼拝の時間を通して、何かをつかんで下さることを願っています。

女子学生への要望

志賀 それでは、最後に教師の側から女子学生諸君に対する要望というものがありませんかとどうぞお願いします。

児玉 礼拝の時間にはもっと出てほしいと思います。寮生はかなり出ていますが、それから私たち教師から見た女子学生気質についてですが、戦前の学生は家ネズミにたとえられましょう。昨今の学生は余り勉強しなめと言われますけれど、一概にそうは言い切れないんじゃないですか。戦前の学生は哲学書や宗教書を読み、自分でこれを消化していったが、ある時には食べられないものまで食べて消化不良を起したり、下痢を起したりしまし

たが、食物がどこにあるかをよく知っていました。ところが最近の学生は、二十日鼠のように檻の中に入れられ、栄養たっぷりの餌が与えられる。ですから非常に肥える。ところが、いざ卒業となって檻を取去られるとどこへ行ってよいのかわからない。こういった傾向の学生が、次第に増えてきているようです。学問を消化していく姿勢を学生に望みたいと思います。

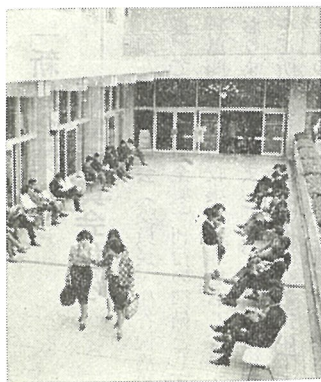
野辺地 私が女子学生諸君に望みたいことの第一は、他人の真似をやめて、自主的に物事を考え、信念をもって行動して欲しいということです。つまり主体性の確立ということです。みていますと女子学生はこの点が弱いようです。第二は学問を美しく明るく平和な学問探求の場とするため、時には主導性をとって男子学生と協力して戴きたいと思うのです。特に大学生の倫理の確立という点に関して、私は女子学生諸君の精神の純潔さに多くの期待を寄せています。それほどに昨今の大学生の倫理が低下していると思うのです。

男女学生の特質的相違

林 志賀先生にお聞きしたいんですが、教師

からみた男女学生の特質的相違ということなんです。よく新聞などに、女子学生はよく勉強するけれども、創造的能力、構成員において男子に劣るとか書いてありますが、いかがですか？

志賀 専攻学科によつてちがうと思いますけれども、私の経験では、例えば試験問題などで、応用問題を取るのはいくつの場合男子の学生で、女子学生はノートからの出題を取りまですね。それはつまり毎週忠実に出席してノートしたものをもとめたいということでしょう。意地悪く言いますと、男子は余り出席していないでしょう。だから一つ応用問題を本番でやろうというわけです。「志賀先生は



大学記念館に憩う学生

嫌いよ。意地悪なもの」といって、女子学生に嫌われますのは(笑)ノートの題目通りの問題を出さず、各章を読み通して纏めなければ書けないような総括的な問題を出すからでしょう。そうしなければ学生自身の思索的な構成力とか論理的な表現力といったものを見る

ことができません。ただ語学については、私の場合はドイツ語ですが、女子学生は男子に決して劣りません。いやむしろ英語やフランス語などは、男子学生より勝れているのではないですか。ただ女子学生の選ぶ学問には、英文学や国文学、フランス文学、美学などと言うように、女子の特質的片寄りを感ぜさせる傾向が強いのです。それでは男子と女子の能力を公平にテストされる場がなくなってしまう。女子に向かないと言われているような学問、学科を通じてでも、堂々と男子と肩を並べてやって行けるんだ、という自信と実力を示して戴きたい。どうも女子学生の学問観や方法論が、余りにスマートでエレガントすぎるように思います。

児玉 創造性ということについて自分ではどう思っていますか。

林 私は男子の学生と比べたことはありません

るので、程度の差はわかりませんが、構成力は程度じゃなくて種類が違うんじゃないか、という気がしますね。

児玉 ええ、それはありますね。

加藤 頭の構造が――。

林 そういうことではなくて、物の感じ方が違うのか知らずと思いますけれど。

志賀 そうです。あなたたちの論理は、いわばパトスの論理で、男子のはロゴスの論理と言えるでしょう。女子の場合は思考形式が総じて直観的で、男子は推論的です。論理的であると言ってもその質の違いがあるんじゃないですか？ それは女性の特質を生かした論理なので、直観的思考が間違っているとは言えません。女子と男子は法律的には平等であっても、やはり性別からくる特異性というものがありますから、これを素直に認め、い面は伸ばしていつて戴きたい。女子が男性的になろうとして、自分の能力を越えて何かをしようとする、破綻が生じましょう。

どうも長時間興味深いお話しを伺い有難うございました。「現代の女子学生気質」の座談会はこれで終わることにいたします。

「新島全集」

編集委員会から

現在、当委員会(委員長・住谷悦治総長)では「新島全集」刊行の準備として新島関係資料の収集・整理をおこなっております。つきましては、新島関係資料をご所蔵の方、あるいは所在についてご存知の方は当委員会にご連絡いただきたくお願いいたします。

なお先般、校友・中村幸三氏(昭十六・大法卒)のご協力により、同氏所蔵の伴直之助宛書簡四通の写本を得ることができました。いずれも、同志社にとっては未見のものであり、貴重な資料の提供に委員一同感謝しております。

今後新しく発見されました新島関係の資料を、本誌で紹介していきたいと考えています。

読者の皆様のご協力をお願いいたします。

新島全集委員会

(同志社本部庶務課)